

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 5 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2013～2016

課題番号：25370762

研究課題名（和文）室町後期・織豊期古記録の史料学的研究による政治・制度史再構築の試み

研究課題名（英文）Rebuilding of the history of political system by the examination of the diary of the 14th to the 16th century

研究代表者

遠藤 珠紀（ENDO, Tamaki）

東京大学・史料編纂所・助教

研究者番号：10431800

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題の目的は、室町後期・織豊期の古記録の所在を追い、特に重要なものは翻刻・人名索引作成などによって、研究資源として有効活用できるようにする。その上で、当該期の政治史・制度史などの実証的再検討を行うことである。

史料翻刻としては『史料纂集 兼見卿記』1～5「綱光公記」などを公刊した。また報告書『東京大学史料編纂所研究成果報告書2016-3 室町後期・織豊期古記録の史料学的研究による政治・制度史再構築の試み』をまとめた。「大外記中原師廉記」全文データ「徳大寺公維公記」人名索引を史料編纂所DBで公開した。さらにそれぞれが主に織豊期の政治史・制度史に関する再検討を進めた。

研究成果の概要（英文）：The purposes of this research theme are as follows. At first I confirm the existence of historical records of from the 14th century to the 16th century. The important thing makes translation and an index. We reinspect political history in the time on it. We announced translation such as "The Diary of YOSHIDA Kanemi" "The Diary of HIROHASHI Tsunamitu". We compiled results of research report. We showed a "The Diary of NAKAHARA Morokado" whole sentence data, "The Diary of TOKUDAIJI Kintsuna" name index on the database of Historiographical Institute The University of Tokyo. Each person studied the political history.

研究分野：日本中世史

キーワード：日本中世 室町時代後期 織豊期 古記録 史料学

1. 研究開始当初の背景

歴史学研究にとって文書史料と同じく古記録史料が重要であることは言を俟たない。とくに室町後期から織豊期には、前代に比べて多様な階層の人々が日記を記しており貴重な情報が多い。しかしながら当該期の古記録についての研究は、他の時代に比して立ち遅れている。存在が広く知られていないもの、既知であっても史料的検討が充分でないもの、活字化されていないものが多い。例えば伝来してきた記主名の誤り、年次の誤り、底本とすべき良質の本の確定なども充分に行われていない事例も存在する。重要史料とされながら、全容が明らかにされていない古記録も多い。この中には内容的に重要なものも多数ある。そこで本研究課題では、まず基礎史料となる古記録の検討を進める。その上で、史料を再度実証的に読み込むことで、当該期の政治史・制度史に新たな視点をもたらすことが可能であると考えた。

2. 研究の目的

上述の研究状況から、本研究課題の目的として、大きく以下の三点を掲げた。

- (1) 室町後期・織豊期の古記録の所在(原本・写本の所在)を網羅的に明らかにする。
- (2) 特に重要なものについては、史料的性格を検討の上、翻刻・フルテキストデータ作成・人名索引作成などの歴史情報資源化を行う。
- (3) その上で、当該期の政治史・制度史などの再検討を行う。

3. 研究の方法

(1) 東京大学史料編纂所架蔵の写真帳に基づく調査を行い、また各地の史料所蔵機関に赴き、史料を調査した。必要なものについてはデジタルカメラによる撮影、あるいは紙焼き写真の購入を行う。

(2) 室町後期・織豊期の古記録の翻刻・史料学的検討を進めた。おもな対象として吉田社の社家吉田兼見の「兼見卿記」(金子・遠藤が担当)、室町期の武家伝奏の家柄である広橋綱光の「綱光公記公記」(遠藤が担当)、織豊期に織田信長・豊臣秀吉の伝奏を勤めた中山孝親・親綱親子の日記(堀・遠藤が担当)「中山親綱記」(遠藤が担当)、宮中の日記である「御湯殿上日記」「院中御湯殿上日記」(矢部・遠藤が担当)、興福寺の日記(金子が担当)を取り上げる。電子データとしては「中原師廉記」「兼見卿記」全文データ、織豊期の何点かの古記録の人名索引を作成する。

(3) 上記の検討によって、改めて史料に基づき、室町後期～織豊期の政治史・制度史を再検討する。

4. 研究成果

(1) 東京大学史料編纂所架蔵の写真帳に基づく調査を行い、室町後期・織豊期の古記録

の網羅的把握に努めた。また各地の史料所蔵機関に赴き、史料を調査した。必要なものについてはデジタルカメラによる撮影、あるいは紙焼き写真の購入を行った。主な調査先は、天理大学附属天理図書館・京都大学総合博物館・国立歴史民俗博物館・建勲神社・本能寺・京都御所東山御文庫・名古屋市蓬左文庫・石川武美記念図書館・宮内庁書陵部・早稲田大学中央図書館・國學院大學などである。

(2) 室町後期・織豊期の古記録の翻刻・史料学的検討を進めた。その成果として『史料纂集 兼見卿記』1～5(八木書店。堀・金子・遠藤等の校訂)、「綱光公記」(『東京大学史料編纂所紀要』24～27)、「孝親卿記」(堀が担当)「中山親綱記」(遠藤が担当)「院中御湯殿上日記」(遠藤が担当)「御湯殿上日記」(矢部が担当)「尋憲記」(金子が担当)「東北院兼深記」(金子が担当)(以上『東京大学史料編纂所研究成果報告2016-3』)などがある。後掲「主な発表論文等」参照。

こうした作業によって、当該期の未翻刻の古記録について学界で共有できる研究資源となった。またこれまで知られていなかった古記録・逸文の集成や、従来の翻刻をより良質の底本に基づいて訂正することができた。

主要な古記録については全文データ、人名索引を作成を進めた。このうち「中原師廉記」全文データを東京大学史料編纂所データベース「古記録フルテキストデータベース」に、「徳大寺公維記」人名索引を同データベース「中世記録人名索引データベース」にて公開した。その他についてもさらに検討を進めた上で、データベースあるいは活字の形での公開を目指す。

(3) (1)(2)の作業によって史料を改めて読み込み、新たに得られた知見をもとにそれぞれ主に織豊期の政治史について検討を進めた。後掲「主な発表論文等」参照。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 19件)

- ① 遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎、綱光公記一文安六年(宝徳元年)四月～八月記、東京大学史料編纂所研究紀要、査読なし、27号、2017、106-117
- ② 遠藤珠紀、誠仁親王の死去と「陽光院御登遐記」の成立、古文書研究、査読なし、82号、2016、139～141
- ③ 金子拓、豊臣秀頼の諱をめぐる史料、古文書研究、査読なし、81号、2016、125-128
- ④ 矢部健太郎、上杉家の上洛・「清華成」と儀礼認識—「清華成」の認知度—、國學院雑誌、査読なし、117—9、2016、1-16
- ⑤ 遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎、綱光公記 文安六年正月～三月記・文安五年符案、東京大学史料編纂所研究紀要、査読なし、26号、2016、94-107

- ⑥ 遠藤珠紀、豊臣秀次の叙従一位について、戦国史研究、査読有、71号、2016、31-32
- ⑦ 遠藤珠紀、「明月記歌道事」伝本について、明月記研究、査読なし、14号、2016、59-73
- ⑧ 遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎、綱光公記 応仁元年暦記・応仁元年四月別記、東京大学史料編纂所研究紀要、査読なし、25号、2015、82-93
- ⑨ 金子拓・遠藤珠紀、國學院大學宮地直一コレクション『諸事書抜』・同紙背文書、國學院大學校史・学術資産研究、査読なし、7号、2015、205-237
- ⑩ 遠藤珠紀、徳川家康前半生の叙位任官、日本歴史、査読有、803号、2015、65-73
- ⑪ 堀新、徳川史観と織豊期政治史、民衆史研究、査読なし、89号、2015、39-56
- ⑫ 矢部健太郎、武家権力の変遷と古田織部正重然、茶の湯文化学、査読なし、23号、2015、2-14
- ⑬ 遠藤珠紀、東京大学史料編纂所特殊蒐書徳大寺家本「古キ文」の紹介、古文書研究、査読有、78号、2014、92-104
- ⑭ 金子拓、久我晴通の花押と文書、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読なし、66号、2014、2-8
- ⑮ 遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎、綱光公記 寛正五年暦記(二)・寛正五年一二月別記、東京大学史料編纂所紀要、査読なし、24号、2014、78-88
- ⑯ 遠藤珠紀・金子拓、國學院大學図書館所蔵「諸奉行」、國學院大學校史・学術資産研究、査読なし、6号、2014、145-183
- ⑰ 金子拓、誠仁親王の立場、織豊期研究、査読有、15号、2013、1-20
- ⑱ 矢部健太郎、関白秀次の切腹と豊臣政権の動揺、國學院雑誌、査読なし、114-11、2013、460-475
- ⑲ 遠藤珠紀、史料編纂所新収「楽家多氏文書」の紹介、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読なし、63号、2013、16-19

〔学会発表〕(計 12件)

- ① 金子拓 「「惣無事令違反」を考えるー奥羽の事例からー」戦国史研究会、2017年2月18日、駒澤大学(東京都・世田谷区)
- ② 矢部健太郎 「関ヶ原の合戦」シンポジウム近江戦国Ⅱ・関ヶ原合戦と近江、2017年1月29日、江戸東京博物館(東京都・墨田区)
- ③ 金子拓 「長篠の戦い後の織田信長と本願寺」白山史学会、2016年11月26日、東洋大学(東京都・文京区)
- ④ 金子拓 「様変わりした落合左平次道次背旗(鳥居強右衛門磔刑図)について」新城市設楽原歴史資料館開館20周年連続講座、2016年10月30日、新城市設楽原歴史資料館(愛知県・新城市)
- ⑤ 金子拓 「織田信長と朝廷」第8回信長学フォーラム基調講演、2015年11月22日、じゅうろくプラザホール(岐阜県・岐阜市)
- ⑥ 金子拓 「『信長記』と美濃」岐阜県博物館

特別展『天下人の時代ー信長・秀吉・家康と美濃ー』講演会、2015年5月24日、岐阜県博物館(岐阜県・関市)

⑦ 堀新 「徳川史観と織豊期政治史」民衆史研究会2014年度大会、2014年12月21日、早稲田大学(東京都・新宿区)

⑧ 矢部健太郎 「慶長期の政治と文化ー武家権力の変遷と古田織部正重然ー」茶の湯文化学会大会シンポジウム「古田織部の茶の湯ー慶長期の茶の湯をめぐるー」2014年6月15日、池坊短期大学(京都府京都市)

⑨ 堀新 「太陽と月の関係ー豊臣秀吉と後陽成天皇ー」第6回東アジア文化交渉学会大会、2014年5月9日、復旦大学(上海(中国))

⑩ 矢部健太郎 「秀次切腹事件と豊臣政権」近江八幡郷土史会、2014年2月23日、近江八幡市立図書館(滋賀県・近江八幡市)

⑪ 矢部健太郎 「秀吉の政権構想と聚楽第」平安京・京都研究集会、2013年10月26日、機関紙会館(京都府・京都市)

⑫ 金子拓 「秋田藩の修史事業と梅津家の文書」秋田大学史学会、2013年9月21日、秋田大学(秋田県・秋田市)

〔図書〕(計 17件)

① 堀新・矢部健太郎・金子拓・遠藤珠紀『東京大学史料編纂所研究成果報告書 2016-3 室町後期・織豊期古記録の史料的な研究による政治・制度史再構築の試み』2016、159頁

② 堀新・井上泰至編『秀吉の虚像と実像』笠間書院、2016、407頁

(同書に堀新「序」「秀吉の生まれと容貌 実像編」遠藤珠紀「秀吉と天皇 実像編」金子拓「秀次事件の真相 実像編」所収)

③ 橋本政宣・岸本眞實・金子拓・遠藤珠紀校訂『兼見卿記』五、八木書店、2016、304頁 齋木一馬・染谷光広校訂

④ 矢部健太郎『関白秀次の切腹』KADOKAWA、2016、301頁

⑤ 山本博文・堀新・曾根勇二編『織田信長の古文書』柏書房、2016、352頁

⑥ 山本博文・堀新・曾根勇二編『徳川家康の古文書』柏書房、2015、311頁

⑦ 橋本政宣・金子拓・堀新・遠藤珠紀校訂『兼見卿記』四、八木書店、2015、266頁

⑧ 金子拓『織田信長権力論』吉川弘文館、2015、427頁

⑨橋本政宣・金子拓・遠藤珠紀・渡邊江美子
校訂『兼見卿記』三、八木書店、2014、312
頁

⑩齋木一馬・染谷光広校訂金子拓・遠藤珠紀
新訂増補版校訂『兼見卿記』二、八木書店、
2014、266 頁

⑪金子拓・遠藤珠紀新訂増補版校訂『兼見卿
記』一、八木書店、2014、280 頁

⑫山本博文・堀新・曾根勇二編『豊臣政権の
正体』柏書房、2014、331 頁

(同書に堀新「天下と殿下」矢部健太郎「前
田玄以の呼称と血判起請文」金子拓「豊臣秀
次朱印状の謎」所収)

⑬金子拓『織田信長〈天下人〉の実像』講談
社、2014、304 頁

⑭堀新「織田政権論」『岩波講座日本歴史』
一〇・近世一、岩波書店、2014、25-62

⑮矢部健太郎『関ヶ原合戦と石田三成』吉川
弘文館、2013、253 頁

⑯山本博文・堀新・曾根勇二編『戦国大名
の古文書』西日本編、柏書房、2013、419
頁

⑰山本博文・堀新・曾根勇二編『戦国大名
の古文書』東日本編、柏書房、2013、396
頁

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

遠藤 珠紀 (ENDO, Tamaki)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：10431800

(2) 研究分担者

堀 新 (HORI, Shin)
共立女子大学・文芸学部・教授
研究者番号：80296524

矢部 健太郎 (YABE, Kentaro)
國學院大學・文学部・教授
研究者番号：20459001

(3) 連携研究者

金子 拓 (KABEKO, Hiraku)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：10302655

(4) 研究協力者

山崎 布美 (YAMAZAKI, Humi)
國學院大學・文学部・博士課程
研究者番号：なし
水野 嶺 (MIZUNO, Rei)
國學院大學・文学部・博士課程
研究者番号：なし
堀 智博 (HORI, Tomohiro)
研究者番号：なし